

Montessori ちゃいるどはうす草薙事業報告書

令和7年3月14日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1 保育理念

『Montessori ちゃいるどはうす』は、モンテッソーリ教育を土台とした保育・教育を行う。自然体験活動を中心とした実体験を通して子どもたち自身が自らの『生きる力』を発見し、伸ばしていくことのできる環境を愛と知識を持って提供する。

2 事業目的と役割

国から示された「子ども子育て新制度」に基づき、養護と教育の一体化を図りながら、子どもと大人が主体的に関わる保育を行うとともに、地域の子育て支援を充実させる。

3 保育所の運営

沿 革	・平成26年4月 小規模保育所 Montessori ちゃいるどはうす草薙 開園 ・平成27年11月 地球の子ども株式会社設立 ・平成29年4月 Montessori ちゃいるどはうす中吉田 開園			
開所日・開所時間	月曜日～土曜日 7:30～18:30			
休園日	・日曜日、国民の祝日及び休日 ・年末年始（12月29日～1月3日） ・法人が特別必要と認めた日			
年齢別入所児数 (令和7年3月1日現在)	0歳児	1歳児	2歳児	計
	6	7	5	18名
職員数 (令和7年3月1日現在)	施設長 1名 園長 1名 保育士 6名 バイリンガル講師 1名 保育補助 2名 (計 11名)			
職員保有資格等	・保育士・幼稚園教諭・小中高特別支援学校教諭 ・モンテッソーリ教育教師 ・子育て支援員・ベビーマッサージ講師 ・子育てアドバイザー ・幼児保育英語検定2級			

4 保育

(1) クラス編成

プーボ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）

環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別の発達段階に合わせた保育を推進するため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を4段階に分けて環境を構成し、個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図る。

1段階目 歩けるようになる

2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになる。

3段階目 座って手指の活動ができるようになる。言葉が増える。

4段階目 着脱、排泄、食事など日常生活の自立に向かって、自分の事を自分でやりたいと思うようになる。

(2) 保育計画作成・記録の実施

- ・児童票に基づく月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）
- ・午睡チェック表（毎日0歳児）
- ・食物アレルギー調査票（毎月対象児）
- ・児童票記録（毎月）
- ・次年度引継ぎ表の作成（全園児3月作成）

(3) 給食の実施

安心安全な楽しい給食の提供に努めるとともに、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ねる。

- (0歳児) 園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への段階別給食の提供
- (1歳児以上) 園児の発育状況に合わせ、完全給食の提供
- (2歳児以上) バイキング給食→(コロナ感染)
- (全園児) おやつ提供
- (特別給食) 行事ランチ・年度末お弁当ランチ・戸外活動用お弁当
豊かな食の環境を目指し、トライアルメニューとお楽しみおやつを継続
- (保護者) 給食参観会
給食献立の毎月配布
本日の献立の写真掲示(毎日)
- (給食会議) 子どもの給食時の様子、献立等給食担当と保育担当との情報交換
(各クラス 年3回)

食事が子どもの健やかな心の発達を促す場であると捉え、以下のことを大切にする。

- ① 食事が楽しい時間となるよう努める。
- ② 離乳期を大切に過ごす。
- ③ 子どもが自分の量や、好みの選択ができるよう考慮する。
- ④ 子どもが「食べたくない」時があることを大切に考える。
- ⑤ 守るべき食事のルールを伝える。
- ⑥ 食べ物を粗末にしない。
- ⑦ 食事を処罰に使わない。
- ⑧ 栄養士・保育士による献立(食品および栄養素)の説明

(4) 健康・衛生管理

項 目	内容等	実施回数
園児健康診断	内科検診(村上小児科：村上仁医師)	年2回
	歯科検診(かめやま歯科：亀山太一医師)	年2回
園児口腔衛生	緑茶うがいの実施(給食後)	毎日
園児体調管理	健康チェック(コドモン入力)	毎日
	身体測定	月1回
	こまめな水分補給の実施	随時
	手洗い、うがい指導の実施	随時
感染予防・衛生管理	次亜塩素酸による床、トイレ、教具の消毒	1日2回
	手洗い、消毒の徹底	随時
	おむつ交換時、使い捨て手袋を使用	随時
	紙おむつ自園処分(持ち帰りなし)	毎日
	加湿空気清浄器を設置 常時稼働	常時稼働
	温湿度計設置	常時稼働
	洗濯物の分別(床拭き、床以外、次亜塩素酸用雑巾)	毎日
	消毒液の各クラスと玄関ドア前設置	毎日
職員健康管理	検便(赤痢菌・サルモネラ菌・腸チフス・パラチフス・病原性大腸菌O-157)	毎月1回
	定期健康診断	
	健康チェック(検温・体調報告)	

(5) 保護者との連携

- ・コドモン及びホームページでの情報公開とトピックス更新(常時)
- ・園だより(月1回)松浦公紀名誉園長によるモンテッソーリ教育コラム掲載
- ・松浦公則名誉園長による保護者研修会の開催(本年度は9月29日)
- ・コドモン連絡帳(随時)
- ・苦情解決システムの継続
- ・保育給食参観(各家庭1回)及び個別面談(必要に応じて随時)
- ・親子レクリエーション大会
- ・子育て相談(必要に応じて随時))
- ・食に関するアンケートの実施(隔年)
- ・年度末アンケートの実施
- ・保護者ボランティア参加による行事開催

※令和6年度保護者ボランティア参加行事

行事	人数	内容
夏祭り	4	屋台
ハロウィン	8	パレード引率・仮装参加

- (6) 発達支援（必要に応じて個別の支援の検討・計画・実施・報告）
 保育園という集団生活の中で、個々の成長や気持ちに寄り添い、子どもが自立していくために必要な支援を保護者と相談の上、個別支援を行う。

- (7) 地域・他機関との交流（行事参加）
 ・近隣住人 ・もちづき楽器 ・サンライズ ・松永豆腐店

5 職員研修の実施

研修名	研修内容（実施場所等）	人数（担当）
静岡県保育士等 キャリアアップ研修 （令和6年度実施分）	乳児保育	1名
	保護者支援・子育て支援	1名
	障害児保育	1名
モンテッソーリ教育	外部専門講師による現場実践指導及び事後研修 外部専門講師による実践のオンライン参観指導及び事後研修、報告書作成（現場とオンラインそれぞれ隔月）	クラス毎 全職員
	静岡モンテッソーリ教育研究会定例研修会（2回）	全職員
	先進地視察研 Asia Montessori Conference（シンガポール）	2名
	日本モンテッソーリ教育総合研修所 0-3 コース受講	1名
	北関東モンテッソーリ教育研究会研修（年3回）	1名
	バイリンガル教育実践研修 活動のLESSONプラン作成、実践 フィードバックミーティング及び報告書の作成	バイリンガル講師 活動担当者

6 施設管理・防災対策

- (1) 施設の整備 ・管理・安全点検・
 ・ヒヤリハット事例検討及び対応
 ・安全管理危機管理チェックリストによる安全確認（毎月）
- (2) 機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理
 ・食料・水の点検（全園児・全職員3日分購入点検済み）
 ・災害時用品の点検
 ・AEDの点検
- (3) 非常災害防止の実施
 ・避難訓練 毎月1回（地震 火災 不審者）
 ・交通訓練 園外活動時毎回実施
- (4) 外部機関による防災設備確認
 ・防災センター首藤商会による設備第三者点検（11月）異常なし

7 第三者委員会

- ・掲示板、ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置、
 および、回答の徹底（ホームページにて公開）
 本年度苦情無し

8 行政監査 9月実施(書面監査) 指摘事項無し

9 保育目標

- (1) 令和6年度保育目標
 『自分のことが自分でできる子』
 『いろいろなことに挑戦できる子』
 『やさしく強い心を持った子』

(2) 歳児別目標

歳	目 標
0 歳児	・保育士と基本的信頼関係のもと、色々な遊びを楽しむ ・一人ひとりの生活リズム（食事、排泄、睡眠）で心地よく過ごす ・歩行ができるようになり、探索活動を盛んに行う
1 歳児	・探索活動を楽しみ、周りの環境に興味を持つ ・保育士と一緒に食事や排泄、着脱を繰り返す中で自分で出来る楽しさを味わう ・自分の思いや気持ちを保育士に伝えようとする
2 歳児	・全身(体・指先)を動かして保育士、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ ・基本的生活習慣の自立を目指し身の回りのことを自分でしようとする ・ごっこ遊びや模倣遊びを楽しみ友だちとの関りを広げる ・自分の思いを言葉や行動で伝える

10 特別教育

(1) モンテッソーリ教育

『モンテッソーリ教育法』の考え方をベースに、子どもが個々の発達に見合った環境と主体的に関わりながら成長できるように環境を整えた。

発達段階に応じて以下の分野の活動を展開し、様々な教具や教材に触れ、経験を積み重ね視野を広げながら、「自分で出来た」という自信と意欲向上に繋げる。

教育分野	活動内容
日常生活の練習	生活に必要な活動を通して自分の身体を意志通りにコントロールする能力を養う。
感覚	感覚体験の整理をしながら観察力や思考力を身に付け、感覚器官を洗練していく。
言語	語彙を豊かにしながら、最終的には文法を意識した母語の理解力と表現力を養う。
算数	量や数への興味が出てきた頃に具体的な教具を使って数の法則や計算方法を学ぶ。
文化	歴史、地理、地学、動・植物、等、多様な興味の種蒔きをしていく総合学習の場
平和	他者との違いを受け入れ、互いに尊重し協力しながら思いやりや平和への思いを育む。
音楽	世界の音楽を楽しみ、聴く事、歌う事、踊る事、楽器を鳴らす事などで表現する。
美術・造形	目と手の協応動作の獲得を促し、思いのまま自由に表現する事を楽しむ。

(2) 自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供し、ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気持ちを育むために以下の活動を展開した。

<飼育体験>

(飼育生物) かたつむり かぶとむし

<栽培・収穫体験>

月	内容
5 月	土にリサイクル材を混ぜて再利用 夏野菜購入 ピッチーノ 夏野菜のぬりえ（ポップ作り） ピッチーノ 夏野菜を植える（キュウリ・オクラ・ピーマン・なす）
6 月	★ジャガイモ収穫（1, 2 歳児） 夏野菜収穫 ・ピッチーノ：オクラ、ピーマン→おなか醤油和えにして食べる

7月	夏野菜収穫（1，2歳児） ・ピッコロ：オクラ、ピーマン、なす収穫→野菜スタンプ ・ピッチーノ：ナス収穫→塩もみ、おかか醤油和え ・ピーマン、オクラ収穫→おかか醤油和え
8月	夏野菜収穫 ・ピッチーノ：オクラ、ピーマン収穫→野菜スタンプ
9月	冬野菜植え付け ・ピッチーノ：冬野菜ぬりえ（ポップ作り） ・ピッチーノ：キャベツ、ブロッコリー、白菜、カリフラワー
10月	★落花生、さつまいも収穫（1，2歳児） チューリップ球根の植える（1，2歳児）
12月	冬野菜収穫 ・ピッチーノ：カリフラワーの収穫→レンジで塩ゆで 白菜収穫→葉でフロッタージュ、断面で野菜スタンプ
1月	冬野菜収穫 ・ピッチーノ：キャベツ収穫→発育不良の為、葉や断面の観察 2歳児収穫

★塚本農園での体験（園バス利用）

<プランター>

季節	植栽種類
10月	チューリップ球根植え付け（1，2歳児）

<散歩>

一里山西公園、一里山東公園、一里山北公園、新草薙公園

<川遊び>（園バス利用）

7月 長尾川親水公園（塚本農園近く）（2歳児）

（3）バイリンガル教育

対象	0～2歳児
目的	・日本語以外の言語に親しむことを通して、他者との違いや文化の多様性への興味関心を育む。 ・英語を使ったコミュニケーションを楽しむことを通して、積極的に他者と関わろうとする意欲を育む。 ・日本語以外の言語を使う体験をし、国際社会で活躍していくための素地を育む。 ・フォニックス音を体験できる LessonPlan 環境の整備
内容	・国際社会を生きていく子どもたちのための外国語体験プログラムを展開する ・各クラスのバイリンガルデイには英語による給食の食材紹介をした。 ・日常生活の中で、大人も子どももバイリンガル講師との簡単な英語でのコミュニケーションを楽しみ、「伝わって嬉しい」体験を増やした。

（4）日本文化体験 ※外部講師による

対象	2歳児
目的	・日本独特の美しく豊かな文化を体験し、和を尊ぶ心を養う
内容	・2歳児クラス 年3回（フラワーアレンジメント）30分程度

1 1 特別教育費会計報告
(1) モンテッソーリ教育

収 入			支 出		
項目	総額 (年額)	備考	項目	総額 (年額)	備考
特別教育	1,026,000	第1子1人5000円/月 きょうだい児3000円 人数は月により変動	バイリンガル講師代 モンテッソーリ講師代	1,026,000	
計			計	1,026,000	
収入－支出＝0					

1 2 令和6年度主な行事

月	内 容		
4月	進級お祝いランチ	10月	さつまいも掘り、落花生の収穫 ハロウィンパレード
5月	こいのぼり集会	11月	積み木教室 音楽会 (中吉田へ)
6月	親子レクリエーション ジャガイモ掘り (1, 2歳児)	12月	クリスマス会 (楽器演奏) お弁当の日
7月	七夕集会 すいか割り大会 夏祭り 川遊び (～9月) (2歳児以上)	2月	ひな祭り集会
9月	お月見集会 保育・給食参観会 (10月～11月) 落花生収穫 (1, 2歳児) 保護者モンテッソーリ教育講演会	3月	はばたきの会 お弁当バイキングランチ